

# のみ民報

2025-26 年  
12 月 28 日  
1 月 3 日号

☎57-3487 近藤  
51-3506 佐伯



お詫び

12月20号で田中策次郎議員のお名前を田中作次郎と転換ミスしました。お詫びして訂正いたします。

## 新年あけましておめでとうございます



去年は皆様に大変お世話になりました。おかげさまで近藤啓子さんのあとを無事に引き継ぐことができました。佐伯は、元議員といえど4年のブランクがあるので、新人議員と同じスタートラインだと感じています。12月議会を終え、市民の皆さんの願いが実現できないことのもどかしさを感じています。今年こそ市民の皆さんの願いが実現できる年としたいものです。そのためにも皆さんの声をどしどし届けていただきますようお願いいたします。

昨年誕生した高市政権に平和が壊れていく危うさを感じます。非核三原則(核兵器は持たず、作らず、持ち込ませず)を見直す発言、政府高官による核兵器の保有発言、軍事費をGDP3.5%に拡大する(21兆円規模)など、日本を戦争する国に作り変えようとするたくらみには、声を挙げて反対し、平和な日本を維持しなければならないと思います。子供たちや孫たちのためにも、今年は踏ん張る年にしていきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします ♡



## 12月議会 佐伯の一般質問と答弁

### ○「はまなすの丘」存続について

Q はまなすの丘は市民にとって大事な高齢者施設、存続を求める。

A 施設の老朽化、人員不足、経営悪化があり、縮小・廃止することで経費が削減できる。入所は縮小して、デイケアサービスは廃止する。次への入所については相談に乗っている。

(あくまでも、「はまなすの丘」を存続させることに否定的な答弁に終始しました)

### ○物価高対策について

Q 子育て世帯・低所得者世帯に、お米券の配布を・全世帯向けにのみ応援特典券を配布しては

A 市民の生活を支えるためにのみ応援特典券を含めた支援を考えている。

(本会議最終日にのみ応援特典券5000円分を全市民に配布、18歳までの子供に1人20,000円が支給される条例が出されました。)

### ○のみ地域力強化ファンドについて

Q 毎年支援を減らすやり方でなく、支援を強化すべき

A 支援の在り方を総合的に検討している。互助活動が継続できるように支援に向け運営体制を構築していく。(前向きな答弁が引き出せたのではないかと思う)



## 議会を傍聴しての感想が寄せられました。

「はまなすの丘」に関して、議員からどんな意見が出されていたのかつまびらかではないが、若い新しい議員はどう思ったのか、高齢の古参議員はわが身と思わないのか。現在の建造物にこだわらずとも、新しい病院の役割や機能に合わせてというのなら、74床を29床に大幅に減らすとか、お風呂付きのデイケアサービスを廃止してしまうとかではなく、少なくとも市は当面これを最大限活用して、これから増えてくる高齢者に安心できる方向を示すべきではないでしょうか。また、新しい市立病院との方向性も明らかにされていないうちに、廃止はよくないのではないのでしょうか。

「はまなすの丘」の存続を求める会  
代表者 小山比朗志

「はまなすの丘」の存続を求める請願については、佐伯議員以外の議員は全員反対でした

## 谷口善太郎の映画が出来上がりました

能美市が生んだ偉大なプロレタリア作家、谷口善太郎(親しみを込めて谷善と呼ばれている)を「存じますか?」出生地の和氣に谷善の石碑があります。谷善の生きざまに感動した 土本監督がドキュメンタリー映画を作製されました。ドローンで撮影された能美市の風景も映し出されています。能美市での上映も予定されています。

上映の際にはご案内いたしますので、ぜひ「視聴いただきますようお願いいたします」。